

イムデトラ療法の治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール 症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1 日目	2～14 日目
イムデトラ (タルラタマブ)	 1時間	お休み

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10～14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

赤血球減少(貧血)

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。

血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。



〈ご自身でわかる副作用〉

サイトカイン放出症候群

T細胞が活性化される際に、大量の炎症物質（サイトカイン）が放出されることで起こる全身反応です。主な症状としては、発熱、悪寒、体の強いだるさ（倦怠感）、悪心・嘔吐、低血圧があらわれることがあります。初回治療時に起こる可能性が高いため、初回は入院で治療を導入します。

ICANS（免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群）

脳・神経系に影響が及び、意識状態や神経機能の低下が生じる状態です。主な症状としては、頭がぼんやりする、話しにくさ、手足の震え、意識障害、筋力低下があらわれることがあります。月に1回程度の頻度で認知機能の検査などを行って確認します。

• 間質性肺疾患

空気を取り込む肺胞という器官が炎症を起こす病気です。初期症状は、息切れ、発熱、痰のない乾いた咳（空咳）、疲労などがあげられます。これらの症状に気付いたら自分で対処せず、すぐに医師、看護師、薬剤師に連絡して下さい。また、60歳以上の方や肺の病気や手術をしたことがある方、呼吸機能が低下していたり酸素を投与している方、肺に放射線を照射したことがある方、腎障害のある方は間質性肺疾患が起こりやすい可能性があるため特に気を付けましょう。

味覚不全・食欲不振

味やにおいの感じ方が変わることがあります。水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。

国立病院機構 東京病院 042-491-2111(代表)